

義務教育学校企画準備室だより

平成30年1月31日 第5号

義務教育学校の施設整備について説明します



新校舎建設・既存校舎改修の方針

- 3校の児童生徒が一堂に学ぶ「施設一体型」義務教育学校として、北中学校の敷地内に、新校舎等を建設するとともに、既存校舎を改修して利用していきます。
- 9年間の小中一貫教育を行う「施設一体型」義務教育学校として、児童生徒や教職員が、学年を超えて交流・連携を図れるよう、特別教室や各種施設を共有できる校舎とします。
- 児童生徒や教職員の利便性と快適性を考慮するとともに、教育効果を高められる校舎とします。

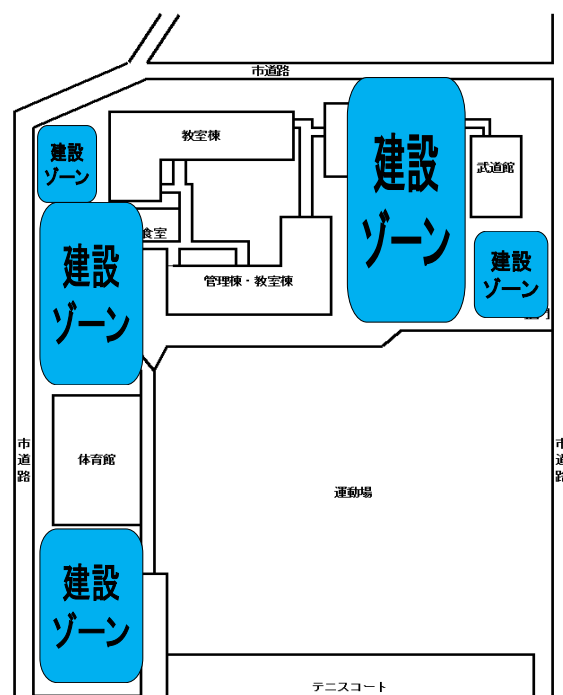


【現在の北中学校の校舎】

新校舎建設概要

- 普通教室20教室や、図工室、生活科室、英語室、理科室等の特別教室を新設するため新校舎を建設する予定です。
- 児童用の新体育館を建設する予定です。
- 児童生徒数約800名、教職員数約50名に対応する給食室を建て替える予定です。
- 児童生徒や教職員が学年を超えて交流・連携を図れるよう、職員室を1つにしたり、普通教室や特別教室の配置を工夫したりする予定です。

2019年度から2020年度にかけて、新校舎等を建設する予定です。工事期間中も北中学校の既存校舎において、継続して教育活動を行っていきます。生徒の安全と教育活動に影響がでないよう十分に配慮して工事を進めます。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



北中学校の敷地図です。
あくまでイメージですが、これらの建設ゾーンの中で、新校舎等を建設していく予定です。